

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	星空キッズツアー
支援対象者・エリア	福島県内在住の子どもと保護者（希望者）
企画開催地	山梨県北杜市高根町清里
企画名称	星空キッズツアー 2020 in 清里
実施期間	2020年8月8日（土）～10日（月）

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

3. 11震災後の原発事故による放射能の影響から避難するために、2011年から取組んでいます。当初は、放射能をなるべく避けるということが大きな目的でした。夜にうなされる子、鼻血を出す子、食欲のない子、熱を出す子など、体の不調を訴えるお子さんが多く、表情も硬く精神的にも緊張を強いられている様子でした。

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で保養を見合わせる団体が多い中、実施することができたのは、参加を希望する福島の保護者の要望に応えたかったからです。新型コロナウイルス感染は防止対策がとれますぐ、放射能の影響を避けるにはその場を離れるしかありません。コロナの感染拡大は心配でしたが、消毒や健康管理に気をつけて、実施することを決めました。

日頃、様々なことに気を遣い、外で思いっきり遊べない子どもたちにとって、体も心も解放される時を過ごしてほしいと考えて活動しています。わずか3日間ですが、あるお子さんが、「日頃欠かせなかった目薬をささずに過ごすことができた。」というようなこともあります。

夏休みの2泊3日を清里で、自然の中でのびのびと遊んでほしいと企画を始めました。現地で子ども向けに活動している団体等に協力してもらって、プログラムを組んでいます。牧場など広い草原で走り回ったり、アスレチックで遊んだり、動物と触れ合ったり、川で遊んだり、自然観察・星空観察など。宿泊所には体育館が併設されているので、そこでボール遊びなどをすることもよい思い出になっています。また、道具もルールも何もないところで、子ども自身が工夫して遊び始めることを大事にして、自由に遊べる時間を多く取るように心がけています。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で、できませんでしたが、できるだけ安全安心な食べ物を、心配なくみんなで楽しく食べることを考えて、カレー作りや朝食づくりなども取り入れてきました。また、収穫体験は子どもたちに人気があります。収穫したてのトウモロコシを生で食べたり、ブルーベリーを摘みながら食べる経験は、そのおいしさとともに子どもの記憶に残っていくことでしょう。

何回か参加している保護者の方は現地スタッフとなっています。「遠く離れた場所にも知り合いがいてくれる、原発事故のことを忘れないでいてくれる仲間がいることは心強い。」という言葉で、東京のスタッフも活動を続ける励みになりました。

学生スタッフとして参加した若いメンバーが社会人になっても引き続き関わっていて、子どもたちを受け止め、寄り添ってくれています。また、事前学習会や保護者の方の生の声を聞いて、原発事故の意味や保養の活動について、学生スタッフも大人のスタッフも、学びの場となっています。

なお、ツアーの名前の由来は、宿泊所に大きな天体望遠鏡があることに因んでいます。清里は日本国内有数の星空のきれいな場所で、晴れている夜は肉眼でも天の川をはじめ、たくさん星が見られます。

活動の様子（写真など）

1日目 滝沢牧場にて 清里到着後、早速外遊び！



2日目 八ヶ岳美し森ロッジにて 自然の中で、何してる？



朝の体操1. 2. 3～



3日目 キープ協会にて 富士山が見えたよ！



もぐらのおうちだよ！